

農業振興普及課

五島産農産物を活用した 新たな食材・レシピ展示会を開催

五島地域加工業務用産地育成協議会(平成25年6月設立)では、農業生産者の所得向上のため、五島産農産物に関する農産加工品の開発や、島内外の加工業務用需要に対する利用促進のための実需者と生産産地とのマッチングなどの活動を行っています。

今回この協議会活動の一環として、「五島産農産物を活用した新たな食材・レシピ展示会」(平成31年3月19日 五島市福江総合福祉保健センター)を開催しました。展示会は五島市のマッチング商談会「五島うまかもん市」と同時開催し、協議会で活動を支援してきた加工原料用農産物や農産加工品・特産物などを、島内の飲食店や食品加工業者の方に紹介しました。

展示会では、五島海陽高校が商品開発の専門家の助言を受けて考案した干し大根、かんころを使った料理、「五島ルビーの冷凍ピューレ」を使った料理、小麦「長崎W2号」を使ったうどんが提供され、多くの来場者が試食しました。反応は概ね好評で、レシピや加工品を使ってみたいといった高い評価も多数いただきました。

今後も、このような五島産農産物・農産加工品の紹介やマッチングの他、商品開発への支援等も行っていきますので、取組みを検討されている方はご相談ください。



畜産クラスター構築事業による牛舎が竣工

県では五島地域の農業振興方針の一つに「畜産クラスターの取組による日本一の肉用牛産地づくり」を目標に掲げ、関係機関一体となって、畜産クラスター事業を活用した規模拡大や省力化、コスト低減化による所得向上への取り組みを行っています。

平成30年度長崎県畜産クラスター構築事業により6戸(新規4戸 拡大2戸)のJAリース牛舎が3月29日までに完成しました。

この事業活用により、令和5年を目標として繁殖雌牛249頭の増頭を計画しています。これにより、子牛出荷頭数も年間216頭増加が見込まれ、五島の肉用牛の振興に寄与することが期待されます。



整備牛舎(外観)



整備牛舎(内部)